

＜＜記入例＞＞

様式第3 (第52条関係)

※ 充填・回収の実績がない場合でも、報告が必要です。

第一種フロン類充填回収業者のフロン類充填量及び回収量等に関する報告書

5月15日までに提出してください。

〇〇年 〇月 〇日

愛知県知事殿

※すべての項目で記入漏れがないようにしてください。

(郵便番号) 〒〇〇〇-〇〇〇〇
住所 愛知県〇〇市〇〇町〇-〇-〇

法務局に登録されている代表者印を
押印してください。

氏名 〇〇〇〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇



電話番号 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇
登録番号 第1230000000号

登録通知書に記載されている「123」から始まる10桁の番号を記入してください。

※内容の確認をさせていただく場合がありますので、「担当者氏名」及び「担当者連絡先」もご記入ください。

(担当者氏名 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇)
(担当者連絡先 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇)

フロン類の使用の合理化及び管理の適正化を図るとともに、次のとおり報告します。

CFC	(1)エアコン		機器		(3)合計	
	設置	設置以外	設置	設置以外	設置	設置以外
CFCを充填した第一種特定製品の台数	1台	3台	0台	1台	1台	4台
CFCを回収した第一種特定製品の台数	10.0kg	0kg	0kg	10.0kg	10.0kg	3.1kg
(1)エアコン、(2)冷蔵冷凍機器の合計(台数・量それぞれ)が、(3)の値と一致するようにしてください。	整備	廃棄等	整備	整備	(3)合計	

設置 (新たに機器を設置した場合)
新たに機器を設置した時にフロン類を充填した機器の台数とその充填量 (機器に当初から封入されていた量)を除く。

設置以外 (機器を整備等する場合)
使用中の機器のメンテナンスに伴いフロン類を充填した機器の台数とその充填量。整備等で、フロン類を回収した後に、そのまま全量充填した場合、その分の充填量及び回収量は集計しません。
(例) 冷蔵機器1台を修理の際、10kgのフロンを回収し、作業後10kgのフロンをエアコンに戻した場合、台数は「1台」、充填量及び回収量は「0kg」となります。

整備 (機器のメンテナンス等を行う場合)
機器のメンテナンスに伴いフロン類を回収した機器の台数と、最終的に回収したフロン類の量。整備等で、フロン類を回収した後に、そのまま全量充填した場合、その分の充填量及び回収量は集計しません。
(例) 冷蔵機器1台を修理の際、10kgのフロンを回収し、作業後10kgのフロンをエアコンに戻した場合、台数は「1台」、充填量及び回収量は「0kg」となります。

廃棄等 (機器を処分する場合)
処分するためにフロン類を回収した機器の台数とその回収量 (処分時にフロン類が回収できなかった場合、台数は「1台」、回収量は「0kg」としてください)

HCFC	(1)エアコンディショナー		(2)冷蔵機器及び冷凍機器		(3)合計	
	設置	設置以外	設置	設置以外	設置	設置以外
HCFCを充填した第一種特定製品の台数	10台	50台	1台	70台	11台	120台
HCFCを回収した第一種特定製品の台数	8.5kg	32.4kg	0kg	40.2kg	8.5kg	72.6kg
⑨充填した量	0kg	7.5kg	0kg	5.7kg	6.4kg	65.6kg
⑩回収した量	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg
⑪年度当初に保管していた量	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg
⑫第一種フロン類再生業者に引き渡し	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg
⑬フロン類破壊業者に引き渡した量	2.1kg	8.8kg				
⑭法50条第1項ただし書の規定による者						
⑮第49条第1号に規定する者に引き渡した量						
⑯年度末に保管していた量						

整備等で、フロン類を回収した後に、そのまま全量充填した場合、その分の充填量及び回収量は集計しません。
(例) 冷蔵機器1台を修理の際、10kgのフロンを回収し、作業後10kgのフロンをエアコンに戻した場合、台数は「1台」、充填量及び回収量は「0kg」となります。

平成30年4月1日時点の保管量を記入
前年度報告書の「年度末に保管していた量」の数値と一致させてください。

備考3に注意し、値に矛盾がないようにしてください。

平成31年3月31日時点の保管量を記入
充填を行うために購入したフロン類の量等、機器から回収したものの以外の量は含めないでください。

※ 裏面もご確認ください。

HFC						
	(1)エアコンディショナー		(2)冷蔵機器及び冷凍機器		(3)合計	
	設置	設置以外	設置	設置以外	設置	設置以外
HFCを充填した第一種特定製品の台数	台	台	台	台	なし	なし
⑰充填した量	kg	kg	kg	kg	なし	なし
	(1)エアコンディショナー		(2)冷蔵機器及び冷凍機器		(3)合計	
	整備	廃棄	整備	廃棄	整備	廃棄
HFCを回収した第一種特定製品の台数	台				台	台
⑱回収した量	kg				kg	kg
⑲年度当初に保管していた量					kg	kg
⑳第一種フロン類再生業者に引き渡した量					kg	kg
㉑フロン類破壊業者に引き渡した量					kg	kg
㉒法50条第1項ただし書の規定により自ら再生し、充填したフロン類の量					kg	kg
㉓第49条第1号に規定する者に引き渡した量					kg	kg
㉔年度末に保管していた量					kg	kg

HFCなど1つの項目で充填量及び回収量等が0の場合、「なし」と記入してください。
(全て空欄、もしくは「0」と記入しても可。)

なし

- 備考 1 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 2 氏名を記載し、押印することに代えて、署名することができる。この場合において、署名は必ず本人が自署するものとする。
 3 原則として、②+③=④+⑤+⑥+⑦+⑧、⑩+⑪=⑫+⑬+⑭+⑮+⑯、⑱+⑲=⑳+㉑+㉒+㉓+㉔となるようにすること。
 4 第49条第2号に該当する場合には、引渡し及び返却の年月日、申請者の氏名又は名称及び住所並びにフロン類の種類ごとに記載した書面を添付すること。

値に矛盾がないか確認してください。

充填回収実績なし

すべての項目で充填量及び回収量等が0の場合、「充填回収実績なし」と記入してください。